

<病害虫発生予察注意報第4号発表>

ハスモンヨトウによる農作物被害に注意しましょう

非常に多くの農作物を食害するハスモンヨトウの発生が平年と比べて多く、県下全域で被害拡大が懸念されます。園地の見回りと適切な防除で、被害を防ぎましょう。

◆対象品目 大豆、野菜類、花き類、果樹類など

◆対象地域 県下全域

◆根拠

- ・塩尻市、須坂市に設置しているフェロモントラップへの誘殺頭数が平年と比べて多く、5月第1半旬から8月第3半旬までの累積頭数が平年の2倍以上となっています。特に塩尻市では、ハスモンヨトウの被害が多発した令和6年の誘殺頭数を上回っています。
- ・ハスモンヨトウは、例年8月頃から飛来頭数が増加し、9月の飛来頭数が最も多くなることから、今後さらに飛来頭数が多くなると推測されます。

(調査結果詳細は別紙注意報を参照)



写真1 若齢幼虫



写真2 大豆の葉の白化



写真3 中・老齢幼虫

◆防除対策と留意点

- ・ハスモンヨトウは卵塊で産卵し、若齢幼虫(写真1)は集団で葉肉を食害して表皮が残るため、白化したような葉(写真2)がみられます。幼虫が確認された場合は速やかに防除を行いましょう。
- ・幼虫の齢が進むと(写真3)、薬剤の効果が低下するため、できるだけ、若齢幼虫期に防除を行いましょう。
- ・ほ場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底しましょう。

◆問合せ先

- ・長野県農業試験場病害虫防除部 電話 026-248-6471 (直通)
- ・注意報詳細 <https://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/>



確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)
担当 長野県農業試験場
病害虫防除部 近藤、若林
電話 026-248-6471 (直通)
FAX 026-248-6473
E-mail bojo@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)
担当 長野県農政部
農業技術課環境農業係 上久保、森
電話 026-235-7222 (直通)
FAX 026-235-8392
E-mail nogi-kankyo@pref.nagano.lg.jp